

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

一般の部

令和六年六月度 入賞句一覧

投句数 五百八十九句

特選

長野 美代子 選

雑念を滝に打たせて流す身を

大垣市

土屋 和馬

すばらしい俳句ですね。夏になると滝に打たれ修業される人を見かけます。すごいいと思います。作者もきつとそうだと思います。

船べりを叩いてせかす鵜匠かな

静岡県浜松市

関根 由雄

私も岐阜の長良で生まれました。夏の夜、鵜飼の頃は、寝る頃になりますと、船べりを叩く音が聞こえてきました。鵜を追って静かな闇の中「コン、コン」と聞こえたことを思い出します。なつかしく思いました。

滴りは山の心音山の声

三重県三重郡

水野 悦子

この句は静かな句ですね。山から流れ落ちる水音は静かです。このように言われるとなるほどと思います。「山の心音」「山の声」とは素敵な表現ですね。心が洗われます。

秀逸

登校日話がはずむ日やけ顔

不破郡垂井町

中嶋 結映

葉桜や顔出す鯉のひげ太し

大垣市

村瀬 佐智子

南風戯れ落つる雀二羽

大垣市

江崎 千鶴子

小さき手で早苗手植えの学習田

大垣市

傍島 豊子

獣医来て鵜飼開きを待つ鵜かな

大垣市

堀江 敏子

初盆の帰りし父の灯のともる

大垣市

戸谷 美知代

青空へ白を貫く山法師

大垣市

本郷 陽子

川風をわたる千匹五月鯉

大垣市

小林 研

抱きし児が目で追う先に蟻の列

大垣市

米川 弘子

名札読みゆつたり回る菖蒲園

愛知県西尾市

金子 恵美

入選

夕暮れの子が寝た後の生ビール

海津市

水谷 勲一

走り茶を一気飲みして走る子ら

大垣市

永江 美佳

ゆつくりと水面ゆく雲代田かな

広島県福山市

栗本 リカ

からくりの腕しなやかに春祭り

加茂郡八百津町

あらいゆう

曳山の提灯揺れて朴の花

大垣市

美濃仙人

永き日をまどろむ老いの無口なり

大垣市

小林 保葉

梅雨晴間鳥の親子競ひ啼き

静岡県静岡市

松永 信介

新緑の中ゆらゆらと盪船

大垣市

森 茂寿

田を植えて笑顔重なる千枚田

瑞穂市

谷 牛歩

あすからは佐々木になるや恋蛭

長野県下伊那郡

長沼 まさし

拭ひたるタオルに仄と菖蒲の香

岐阜市

田垣 百合子

薰風や美濃一国を吹き渡る

各務原市

能登 航

やどかりの半身のり出す子の馬穴

愛媛県松山市

平野 ヒサエ

吊り革に五体預ける残暑かな

滋賀県長浜市

野口 成人

子の傘を母の傘追ふにわか雨

三重県鈴鹿市

余川 もりお

選者吟

樹々を透け白き聖堂凜と夏

美代子



一般の部